

県 広 報

とやま

特集/であい、ふれあい、まなびあい
～生涯学習の推進～

TOYAMA PREFECTURAL REPORT





「こう見えても、子どものころは貧弱で病気がちだったんですよ」と語るのは、全日本ジュニアパワーリフティング選手権一二五キロ級で見事標準記録を突破し、世界ジュニア大会への出場が決まった富山健康科学専門学校二年の山本智広さん。

柔道をやっていた山本さんが、パワーリフティングに出会ったのは、父親に連れられてスポーツクラブに通い始めた中学三年のとき。「柔道は相手によって戦い方も変わりますが、パワーリフティングはバーベルが相手です。テクニ

ックではなく力だけの勝負という単純明快さがかえって新鮮でした。また、練習を積み重ねれば記録と違って返ってくるのも魅力でしたね。

パワーリフティングは、ウエイトリフティングとは似て非なるスポーツ。腕力を競うスクワット、背筋力と握力を競うデッドリフトの三つからなり、人間の最も基本的な動作から生まれた競技ともい

えます。さて、全日本ジュニア選手権では、世界大会出場を狙って臨んだ最終種目デッドリフトで、一、二回目とも失敗。「もう後がありませんでしたが、セコンドの応援のおかげで不思議とリラックスできましたね」。そして最後の試技で見事自己ベストを更新し、九月の世界大会（スロバキア）への切符を手に入れました。「まだ世界の格差はかなりあります。本番ではベストを尽くして、恥ずかしくない戦いをしたいと思います」。

競技人口は少ないものの、歴史の浅さからあまり認知されていないパワーリフティング。「残念ながら二〇〇〇年国体でも正式種目になっていません。でも、この競技で培った筋力強化のノウハウはあらゆるスポーツに応用できる。選手たちへのアドバイスなどを通じてぜひ、とやま国体に貢献したいですね」と明るく語る山本さん。世界の「力持ち」を目指した山本さんの挑戦は、いま始まったばかりです。



▲スクワットに挑む山本さん

ひととやま

「力」は「技」を超える

世界ジュニアパワーリフティング大会 日本代表 山本 智広さん

6 CONTENTS

とやま遊学感 表紙

富山県畜産試験場・丘の夢牧場 表紙

とやま遊学感 表紙

ひとアズとやま 表紙

世界ジュニアパワーリフティング大会 日本代表 山本智広さん 1

クロースアップ 2

① サンフォルテ開館記念式典 2

② 県政モニター委嘱状交付式 2

③ 環日本海環境協力センター設立 2

特集 2

「であい、ふれあい、まなびあい」 生涯学習の推進 2

PINUP TOYAMA 8

写真/松田 勉 (富山県写真家協会会員) 8

詩/山本哲也 (富山現代詩人会会員) 10

ふるさととある記 (上平村) 10

① 五箇山森林組合 10

② 五箇山自然文化研究会 10

③ 外国語指導助手 10

メリッサ・マティエックさん 10

エッセイ/山本一臣 12

(富山県川柳協会副会長) 12

トピックス/知事のまちなまり 13

県からのお知らせ 14

暮らしのアドバイス 16

とやま水紀行/ 表 3

行田公園 (滑川市) 3

とやま 遊学感

YU GAKU KAN 優良な家畜をつくりだします。

富山県畜産試験場・丘の夢牧場

レポーター: 江頭文子さん (県立総合衛生学院) (表紙の人)



▲こんな大きな牛、見たことない!



▲かわいいポニーやウサギたちがいます (動物舎)



▼受精卵はやがて大きな牛になる [丘の夢牧場]

今回私が訪れたのは、今年三月に移転改築した富山県畜産試験場です。ここでは、優良な家畜をつくるため、いろんな試験・研究が行われています。さっそく、試験場の坂口さんに研究棟を案内してもらいました。

バイオ実験室では、体外受精の研究が行われています。顕微鏡で受精卵を見せてもらいましたが、その大きさはわずか〇・一ミリ。これが、あの大きな牛になるなんて、何だか不思議な感じがしました。次に案内してもらったのが動物舎。ここではポニーやヤギ、ウサギなどが飼育され、「ミニ動物園」として県民に開放されています。特に、ウサギたちはとっても可愛くて、ずっと遊んでいた気分でした。

試験場に隣接した大家畜供給センターでは、たくさんの牛が飼育されています。「牛はとても

好奇心旺盛なんですよ」と坂口さん。その言葉通り、手を差し出すと次々に柵から顔を出してくる牛たちに、何となく親しみを覚えました。乳牛舎には、採卵用にアメリカから導入されたドナー牛が飼われています。体重は何と七百キロ。そのあまりの大きさにただただ圧倒される私でした。

さて、これらの施設のお隣には「丘の夢牧場」があり、のんびりと草を食べる牛たちに出会えます。また、ここからの眺めは最高で、晴れた日には立山連峰や富山市内が一望できます。今度はぜひハイキングをかねて訪れたいと思いました。

富山県畜産試験場・丘の夢牧場

場所	婦中町千里前山
電話	☎ 0764 (69) 5921

※10/5には、丘の夢ビーフフェアを開催



撮影/赤羽仁諭 (富山県写真家協会会員) 表紙

とやま遊学感 表紙

富山県畜産試験場・丘の夢牧場 表紙

とやま遊学感 表紙

ひとアズとやま 表紙

世界ジュニアパワーリフティング大会 日本代表 山本智広さん 1

平成9年4月11日～平成9年5月10日

- 4月15日 富山勤労者総合福祉センター“とやま自遊館”開館記念式典
済生会富山病院落成式
- 4月21日 「水墨画を中心とする美術館」起工式
- 4月24日 富山県女性総合センター“サンフォルテ”オープニングイベント（～27日）
富山県消費生活センターオープニングイベント（～27日）
- 4月25日 県政モニター委嘱状交付式・研修会
- 4月26日 平成9年度婦人週間「Duoの集い」
- 4月27日 「みどりの日」記念植樹
- 5月3日 立山山麓グリーンドキュメント（～6日）
- 5月6日 平成9年春の叙勲伝達式
- 5月9日 平成9年褒章伝達式



▲知事から委嘱状を受け取るモニター代表



にわたり、県が実施するアンケートへの回答や、県政モニター会議への参加のほか、随時県政に対する建設的な提言を行います。県では、これらの提言に耳を傾け、積極的に施策に反映していくことにしています。

県政モニターは、今後二年間

県民と県政のパイプ役 県政モニター委嘱状交付式（4月25日）

県政モニターへの委嘱状交付式が四月二十五日、県庁大ホールで行われました。県政モニター制度は、県民の声を行政に生かすことを目的に昭和五十六年度に始まったもの。九期目となる今回は、地域や年齢等を考慮して市町村推薦と一般公募併せて二百五十名の男女がモニターに委嘱されました。

交付式では、中沖知事が、モニター代表の坂本治夫さんに委嘱状を手渡し、「県民と県政のパイプ役になって、いろいろな人の意見を聞いて私たちに知らせてほしい」と、あいさつ。引き続き、新県民総合計画の概要説明などが行われ、モニターの皆さんは県政への理解を深めようと真剣な面持ちで聞き入っていました。

知・ズ・アツプ

みのり豊かな男女協同社会の 創造拠点に

富山県女性総合センター“サンフォルテ”開館記念式典（4月24日）

富山県女性総合センター“サンフォルテ”の開館記念式典が、四月二十四日、同センターで行われました。

式典では、中沖知事が「当センターの開館を機に、男女が共に心豊かで幸せに暮らすことのできる県づくりに一層力を入れていきたい」とあいさつ。名取内閣総理大臣官房男女共同参画室長の祝辞に引き続き、山下節子館長が「県民の皆さんが多数おいでいただくよう、職員一同お待ちしている」と抱負を述べました。

当日は、富山市のパイオリニスト、小沢真琴さんらによる室内楽演奏がオープニングに花を添えたほか、ジャーナリストの大宅映子さんが「女と男、今とこれから」と題した講演を行い、約三百五十人の出席者は熱心に耳を傾けていました。また、二十五日から二十七日までは、トークショーや県内五十余りのグループによる企画参加イベントが催され、終日多数の人々で賑わいました。

サンフォルテは、ライブラリーや交流サロン、ホール、各種研修室・実習室等で構成。今後、男女協同社会の実現に向け、県民の主体的な活動を支援していきます。



▲県内グループによる企画参加イベント



▲ユーモアあふれる語り口で会場を沸かせた大宅映子さん

富山県女性総合センター サンフォルテ 開館記念式典



▲「女性も男性も大いに利用を」と述べた中沖知事



▲おなじみの曲を披露した小沢真琴トリオ

グローバルな

環境保全対策の拠点に

環日本海環境協力センター設立（4月30日）



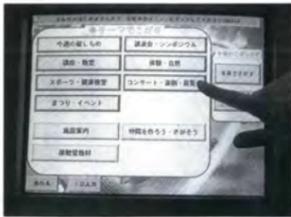
中国、韓国、ロシアなどの環日本海諸国と連携協力して北西太平洋（日本海・黄海）の環境保全を推進するための拠点として、四月三十日、環日本海環境協力センターが設立されました。

富山市内のホテルで行われた設立発起人会では、代表の中沖知事が「沿岸諸国の工業化や海域利用の拡大等により海洋環境への悪影響が懸念されている今、各地域が協力して保全策を取る必要がある」とあいさつ。同センターの設立趣意書および規約等が採択されました。続いて第一回理事会が開かれ、九年度の事業計画、収支予算が承認されました。富山安住町第一生命ビルで行われた事務所開きでは、関係者がテープカットした後、理事長に選任された中沖知事が、入口に看板を掲出しました。

今日、環境問題は人類共通の最も重要な課題となり、よりグローバルな視点での取り組みが求められています。環日本海環境協力センターでは今後、環境に関する情報の収集や調査研究、人材の育成をはじめ、環境保全に向けた国際協力事業などを積極的に展開していく予定です。



▲看板を掲出する中沖知事



画面にタッチするだけで、簡単に情報の検索ができる「とやま学遊ネット」



タッチパネル方式端末設置施設一覧

入善町立図書館	婦中町立図書館
宇奈月町立図書館	町立小杉図書館
黒部市立図書館	大門町立正力図書館
魚津教育事務所	大島町教育委員会
魚津市立図書館	新湊市中央公民館
滑川市立図書館	高岡教育事務所
滑川市文化センター	高岡市立中央図書館
町立上市図書館	高岡市立伏木図書館
町立立山図書館	氷見市教育文化センター
舟橋村公民館	小矢部市立石動図書館
富山県民会館	福光町立図書館
富山県教育文化会館	福岡町教育委員会
富山県議会図書室	砺波教育事務所
富山県生涯学習カレッジ	砺波市立図書館
富山市民学習センター	井波町立図書館
富山県立図書館	庄川ふれあいセンター
富山県情報工房	城端町立図書館
大山町立図書館	福野文化創造センター



県民カレッジ叢書



リカレント学習とは、社会人が必要に応じて再び学校で学習すること。県民カレッジでは、県内の大学や短大等と連携して、若

(4) リカレント学習講座

情報提供の充実
 (1) 「とやま学遊ネット」の充実
 「とやま学遊ネット」は、生涯学習に役立つ情報を提供するネットワークシステムです。情報は、学習講座、イベント、施設、団体・サークル、視聴覚教材、図書、講師・指導者の七種類。県内の公共施設等(左表)に公開端末を設置し、簡単な操作で様々な情報を手軽に入手できるようになっています。なお、とやま学遊ネットは、この三月から二十四時間

自主的な活動を支援
 毎年、県民生涯学習フェスティバルにあわせて「県民カレッジ学遊祭」を開催。また、県民カレッジが主催する講座の講演筆録を「県民カレッジ叢書」として県民に紹介しています。このように、成果の発表の場や相互交流の場、学習資料を提供して、自主的に学習活動を進めている人を応援しています。

多彩な講座を開設
 (1) 一般講座
 講演会形式で幅広い分野の講義を行うのが一般講座です。豊かな人間性を育む「夏季講座」と創造力を育む「創造性開発講座」の二種類があります。
 (2) 専門講座
 特定のテーマを掘り下げて、セミナー形式で一定期間継続的に行うのが専門講座です。芸術・文化、自然科学、とやま学などの各種講座から、生涯学習リーダーの養成講座まで様々なコースを設けています。
 (3) 自遊塾
 平成七年度からは、趣味や研究など一芸に秀でたボランティアの「県民教授」が自主的に運営する「自遊塾」を開設。ユニークなテーマ設定が好評で、今年は十七講座に約四百人が受講します。



▲県民カレッジ講座風景

県民の生涯学習のよりどころとなるのが、富山県生涯学習カレッジ(愛称:県民カレッジ)です。ここでは、次のような学習サービスにより、皆さんの「まなび」を支援しています。

「学びのよりどころ」
 富山県民生涯学習カレッジ
 運用を開始。また、インターネットにも情報提供を始めたので、自宅やオフィスからもアクセスできるようになり、利用者にとって一層便利になりました。
 (2) 相談体制の整備
 県民カレッジ及び魚津・高岡・砺波の各教育事務所では、生涯学習に関する相談に応じています。「趣味をもっと深めたい」「学習の仲間をつくりたい」といった質問に、学習相談員がていねいにお答えします。



近年、余暇時間が増えるにつれて、生涯を通じて主体的に学習しようという機運が高まっています。
 「生涯学習についての県民の意識調査」(平成九年一月 県民カレッジ調べ)によれば、最近一年間で学習・文化活動やスポーツ活動をした人は全体の六割近くに上り、特に高年齢層での増加が目立っています。また、活動の動機としては、「自らの学習意欲」をあげる人が最も多く、学ぶこと自体に生きがいを求めようとする姿勢がうかがわれます。
 そこで、県では、いつでも、どこでも、だれでも、好奇の心で学習できる体制づくりに取り組み、団体や個人の多様で自主的な活動を支援しています。



手・中堅の職業人を対象にリカレント学習講座を開設し、社会の変化に対応できる高度で専門的な知識の習得を支援しています。

映像を学習に生かす
ハイビジョンやビデオ、マルチメディアなどで楽しい学びの場を提供するのが、県民カレッジ「映像センター」です。

ここでは、教材ビデオなどを八つのブースで自由に見ることができ、16ミリ映画やビデオの貸出しも行うことができます。



地域から生まれる学習機会

新たに地域人材活用推進事業スタート

つています。また、最新の設備により映像ソフトづくりのお手伝いをしています。



▲映像センターのビデオブース



学校週五日制の浸透や高齢化社会の到来で、地域社会の教育力の向上が求められています。このため、県では今年度から、学校・家庭・地域社会が連携して地域の人材を発掘し、その活用場をつくる地域人材活用推進事業に取り組みます。

地域人材を発掘・登録・活用

公民館を拠点に、文化やスポーツなどの一芸に優れた方々に呼びかけ、生涯学習や地域活動のリーダーとして

活躍していただくというのが、この事業の第一の目的です。

このため、まず公民館ごとに地域人材活用推進委員会を設置して情報交換を行い、様々な分野で特技を持つ人材をリストアップして登録。そして、これらの人材が活躍できるような場、特に高齢者や児童など異世代が交流できる行事等を企画し、その中の人材活用を図ります。さらに、人材情報を含めた「地域情報だより」の配付等により、地域における学習機会の創出を促します。

地域から広がるまなびの輪

公民館にパソコン端末を設けて（今年度は九か所）、「とやま学習ネット」と接続し、生涯学習に関する情報が即座に得られるようにします。また、各公民館の人材情報も入手できるようにして、地域どうしの交流による人材活用を促進します。

人生をもっと面白くしませんか。



稲山雅子さんは、一昨年から二年続けて県民カレッジ自遊塾を受講。主体的に興味の幅を広げています。昨年は、「羊の毛からフエルトをつくってみよう」

(県民教授・荒井よしこさん)を受講しました。羊毛フェルトがアクセサリーやポーチ、鍋敷などに生まれ変わるのとはとても楽しく、今も続けています。また、世代を越えた交流を通じて、いろいろな考え方やアイデアに触れることができたのは、大変有意義でした。

私の場合、あることを体験すると新たな価値観が生まれ、別のことに興味の対象が移っていきます。一貫性がないように思われるかもしれませんが、学んだことの一つが次の体験に生きてくるので、決して無駄にはならないんですよ。生涯学習というところ、どうしても固いイメージがあります。私は、「仕事」と「日常」のほかにもう一つ何かがあれば、人生はもっと面白くなると思っています。その「もう一つ何か」が、私にとっての生涯学習ですね。



生活価値観がますます多様化している今日、一人ひとりが自らの価値観に基づき新しい生活を創造していくためにも、生涯学習はますますその重要性を増しています。あなたも、主体的に学ぶことで自己実現の場を見つけ、新たな出会いと生きがいと満ちた豊かな生活を始めてみませんか。

教材は身近なところにあります。



牧さんは、平成三年から「戸出を知る」というテーマで、地元の方々を対象とした学習活動の企画・運営を行っています。最初は、戸出地区のお

寺を学習の場を選びました。お寺は古くから町のいたる所にありますし、住職や門徒の方、その他お年寄りの方のお話を伺うことで、いろんな戸出の顔が見えてくると思ったからです。結果は予想どおりでした。参加者の皆さんからは、「何十年も住んでいるのに始めて知ることはかりだった」「守り伝えていくことの大切さを痛感した」「これからは主体的に地元の歴史を学習していきたい」などの声が聞かれました。また住職の方々にとつても、改めて寺と町の関わりを見つめ直す良い機会になったようです。



著名な方の講演を聞くことばかりが生涯学習ではありません。私たちの活動を例に出すまでもなく、教材はすぐ足元にあるのです。私は、一人でも多くの人が好奇心を持つきっかけづくりができれば、と思っています。

●生涯学習についてのお問合せは
富山県民生涯学習カレッジ
〒930 富山市舟橋北町7-1 (県教育文化会館内)
☎0764-41-8635

●「まなびアトやま97 in 小矢部」
参加団体募集のお知らせ

県民に学習や活動の発表の場を提供し、生涯学習の振興を図るため、平成七年度から毎年、富山県民生涯学習フェスティバルを開催しています。三回目を迎える今年度は、小矢部市が舞台となります。

参加ご希望のグループ・団体は、七月末までフェスティバル事務局にお申し込みください。

開催日 10月18日(土)・19日(日)

会場 クロスランドおやべ(主会場)

小矢部市農村環境改善センター(屋内展示場)

その他 施設基本使用料は実行委員会が負担。その他経費(会場設営経費等)は各団体・グループの負担となります。

問合せ・申込み
第3回富山県民生涯学習フェスティバル事務局(小矢部市教育委員会社会教育課)
☎0766-67-1760 (内)527
(県教育委員会生涯学習室)
☎0764-44-3436

●平成9年度県民カレッジ夏季講座のお知らせ
テーマ より豊かな人間性を求めて
《富山地区会場》富山県教育文化会館
〒930 富山市舟橋北町7-1
☎0764-41-8635
午後6時30分～8時

月日(曜)	講師	演題
7・14(月)	津本陽(作家)	戦国大名の生き方
7・15(火)	安田喜憲 (国際日本文化研究センター教授)	森の蛇と女たち
7・17(木)	高 史明(作家)	いま、深いいのちをいめる
7・18(金)	北原東代(エッセイスト)	白秋というひと

《高岡地区会場》富山県高岡文化ホール
〒933 高岡市中川園町13-1
☎0766-25-4141
午後6時30分～8時

月日(曜)	講師	演題
7・24(木)	松田輝雄(フリーアナウンサー)	心にとどくことは
7・25(金)	マリ・クリスティーン (コミュニケータ)	地球市民として生きる
7・28(月)	井波律子 (国際日本文化研究センター教授)	三国志の世界
7・29(火)	多田富雄 (東京大学名誉教授 東京理科大学生命科学研究所所長)	生命を考える

《砺波地区会場》福野文化創造センター
〒939-15 福野町やかた1000
☎0763-22-1125
午後6時30分～8時

月日(曜)	講師	演題
8・4(月)	吉永みち子(作家)	勝負をかける時
8・6(水)	木村尚三郎 (東京大学名誉教授・県民カレッジ特別客員教授)	戦争社会を生きた人
8・7(木)	山口良治 (京都市立京大工業高等学校クビト部監督)	幸せの物指しが変わる
8・8(金)	大岡 信 (詩人・県民カレッジ特別客員教授)	熱き感動を求めて

問合せ先 富山県民生涯学習カレッジ

〒930 富山市舟橋北町7-1
☎0764-41-8635 (内)2222

《受講申込受付、6月16日(月)より》

いっしょにまなぼう!



▲マナビィ

夏が緑の息をこめてさざめく
微風が涼しく樹皮をめくる
ああ ようやくに
うやうやしく思慕するような
つぶらな瞳が
蒼空のかなたを仰いで
白金の嶺をこえていくのが見える

山の聖者よ

世情に盲目めしいて逃れる孤独者に
鬱鬱たる貧困の精神者に
人間を忘れた人間に
山上湖を踏んで立つ お前の
心情の栄えと矜持を
放縦なる胸の憂苦の閱歴を
語ってくれ すぐに
そこの茂みから出てきて

私の称揚する山の聖者よ

カモシカがいる風景「1頭のカモシカが見つかりますか？」(上市町千石にて)

ふたつと
みえろ

記

上平村

人口 / 1,024人
面積 / 94.77km²
(平成9年4月1日現在)

《上平村の概要》

庄川の清流沿いに、四季折々の風情を織りなす風光明媚な山里。国指定重要文化財の岩瀬家や世界遺産に登録された菅沼合掌集落などには、厳しい気候風土に生き抜いた先人の知恵を見ることが出来る。
現在、桂湖及びその周辺を野外レクリエーションの拠点として整備中。オートキャンプ場は七月供用開始予定で、家族連れなど大勢の利用が期待されている。



合掌造りを支える 縁の下の力持ち

五箇山森林組合



▲小林亀清さん

五箇山の厳しい気候風土の中で先人が知恵と技を結集させて作り上げた「合掌造り」。その象徴ともいえる茅葺き屋根を専ら葺き替えているのが五箇山森林組合だ。

「昔は近隣の家々が互いに協力して葺き替えていたんですが、昭和三十年頃から合掌造り民家が減り始め、個人で葺き替えることが次第に難しくなりました」と語るのは、同森林組合作業部長の小林亀清さん。この日は、村上家隣の「庄九郎食堂」の二十三年ぶりの葺き替え日。高さ十五メートル、斜度六十度の屋根を軽々と移動し作業を進める姿はまさに職人芸だ。「屋根に凹凸がでないよう美しく、しかも雨の浸透を抑えて長持ちするように葺き替えるのが大変ですね。特に、屋根の両端や軒先の部分に気を使います」。

同組合の葺き替えスタッフは二十名。その中には、葺き替えの伝統技術を受け継ぎたいと県外からやってきたインターンの若者三名も含まれる。「高度な技術を持っているのは、我々六十代。彼らや地元若者にも、どんどん難しい技術を教えていきたいですね」と意気込む小林さん。これからも、同組合の皆さんは、合掌造りを支える縁の下の力持ちとして、五箇山の景観を守り続けていくことだろう。



▲屋根での仕事は手慣れたもの



▲葺き替えスタッフの皆さん

先人の知恵や工夫を 伝えたい

五箇山自然文化研究会

五箇山の自然や独自の文化に関する調査や観光客に対する解説活動など、裾野の広い活動を行っているのが五箇山自然文化研究会だ。

「茅葺き屋根の葺き替え体験を通して合掌造りの構造を勉強したり、白川郷と五箇山の合掌造りの違いを足を運んで調べたりして解説活動に生かしています」と語るのは、会長の北厚子さん。五十名の会員のうち、約半数が村外在住者であることから五箇山への関心が広がっているのがわかる。昨年度は、失われつつある五箇山の生活文化を記録に残すため、昭和初期を基準とした生活暦を制作。その内容は、衣食住を中心に、伝統行事や養蚕などの産業、岩魚や熊の捕獲方法など多岐にわたる。「お年寄りを対象に聞き取り調査を行ったんです。厳しい生活の中から生み出された知恵や工夫には頭が下がりますね」。

今後は、野外レクリエーション施設が整備される桂湖周辺での解説活動に力を入れていく予定。「境川ダムの湖底に沈んだ桂地区の方に、当時の集落の様子などを聞いてみたいですね」と北さん。また、自然解説のための研修会も積極的に開いていきたいそうだ。

北 厚子さん
秘境に生きた人々の生活をより多くの人に伝えたい。そんな思いと五箇山への愛情が同会の活動の源なのである。



▲観光客への解説も活動の一環

五箇山での 楽しい思い出を胸に

外国語指導助手 メリッサ・マティチェックさん

「生徒の皆さん一人ひとりの実力に応じた指導をするよう心掛けています」と語るメリッサ・マティチェックさんは、村で十年前から開いている英会話教室の五代目教師。就任してから間もなく丸二年になる。

現在生徒は、二十代から四十代の村民六名。「トラベル英会話など、生徒の希望に応じたレッスンをしています。それに、ハロウィンやクリスマスなど季節の行事も取り入れているんですよ。また、授業を通して日本とアメリカの文化や風俗、習慣の違いをともに学びあえるのも楽しみの一つだという。生徒たちの間では、学んだ英語を外国人向けの観光ボランティアなどに生かそうといった企画も持ち上がっているそうだ。

メリッサさんは、アメリカ

カ南部のルイジアナ州出身。「私の故郷は湿地帯で山がありません。だから、上平村の美しい山々にはとても感動しました。

また、五箇山の春祭りでは、獅子舞を見たり、和服を着せてもらったりしていい思い出になりましたね」とすっかり五箇山になじんだ感のあるメリッサさんが、この七月に帰国の予定。彼女と村民たちとのさわやかな交流は大切な思い出としてそれぞれの心に残ることだろう。



▲楽しそうな授業風景



▲着物姿も似合います。

木彫りの里を知事が訪問

知事のまちまわり（井波町）



▲「井波わくわく塾」の皆さんと
なごやかに懇談



▲交流型福祉施設の
説明を受ける



▲大門川河川公園を視察



▲彫刻家の卵たちと語りあう



▲お年寄りたちのゲームに参加



▲アトリエ村で創作活動をする
山根夫妻と

知事と県民が直接ふれあい、意見の交換などを行う「知事のまちまわり」が、五月十三日、井波町で行われました。午前中は、工事中の山野地区公共下水道についての説明を受けた後、大建工業(株)で最新鋭の室内ドア生産ラインを見学。また山見地内に建設中の交流型福祉施設の進捗状況を視察しました。

高瀬公民館では、まちづくりに関する様々な活動を行っている「井波わくわく塾」の会員と懇談。「県を代表する国際イベントとなった国際木彫りキャンプへの一層の支援をお願いしたい」との会員の要望に対し中沖知事は「県としても、この事業がさらに発展するよう協力していきたい」と力強く答えました。

午後からは、南山見公民館で同町議会議員と懇談。井波町が進めようとしている国際芸術文化村構想や井波町にふさわしいまちづくりなどについて幅広い意見交換を行った後、大門川河川公園と市街地にくまなく張り巡らされた消防専用水利配管の源となる大型防火貯水槽を視察しました。

続いて訪れた井波彫刻総合会館では、井波彫刻の技術を学ぶ県外の職業訓練生や若手彫刻家との対話が持たれ、木彫への夢や希望、悩みなどについて語り合った知事は、「青春を燃焼させ、これからもしっかりと技術を身につけてほしい」と激励しました。

分譲開始直前の「花の杜いままち住宅団地」を視察した後、井波町デイサービスセンターを訪れた知事は、来所中のお年寄りたちと楽しく交歓して全日程を終了しました。

ESSAY



川柳とホタルイカ

富山県川柳協会副会長 山本一臣

鮭鱒が生をうけた古里源流へ子孫を残すために命をかけてさかのぼるように、ホタルイカもまた、四月から六月にかけて水深五百メートルの海底より一年という短い寿命ながら産卵のために沿岸の浅瀬まで精力をかけて浮上する。その行動を私達はどのようにうけとめていこうか。

松いかの神秘に海が酔い痴れる 一臣

かつて和田の浜といわれ、現在より百メートルの沖まで砂浜であった滑川海岸を中心とした富山湾に、春のぬくい風がおだやかなさざ波を折なす夕暮れ時、数十万ともいわれるホタルイカの大群が産卵のために浮遊してくる。その大群から発生する光は、夜空にきらめく星座がそのまま海原の鏡に投射したかのような神秘的なパノラマの様相を呈し、見るものをして身心共に釘づけにさせるのである。

イカの全種類の少なくとも半数以上が発光機能を有しているとは言え、ホタルイカの発光が、私達人間の瞳を通して脳裡にあたる幻想的な刺戟は、筆舌にあらわせないきらめきがある。そ

の投光は、人間の生きるための苦しみを忘れさせるほどに陶酔感さえあたえてくれる。

一生を一夜の恋で逝くこい 一臣

しかし、別称「身投げ」ともよばれているホタルイカの産卵。雄は雌に精子を渡して他界し、雌は産卵終了とともに死亡してしまう。そんな耽美ともとれる死の乱舞からは、川柳の句材としては放っておくことの出来ぬものを感じる。軽妙洒脱にして人生一般をうがち、市民生活の生き様や、こうした生物の行動を、擬人法を交じえて十七音字に詠み上げるのが川柳なのである。近頃、低俗な駄洒落をもって作句された作品がもてはやされているのも現実ではある。しかし、私見かもし



れないが、本当の笑いは、人間の哀しみの底から引き出されるものであり、そこに川柳文芸のはたす役目があると私は常に自分に言い聞かせている。これは独り私の偏見ではないと信じている。

命日がこいかに続く春の海 一臣

ホタルイカの真のメカニズムはまだ解明されていない。だがホタルイカが春の夜毎夜死を掛けてくり広げる群遊が人の心に与える桃源美は、人間の情念や熱愛をはるかに超えた壮絶なものなのである。そのことを思うとき、私はえも言われぬ哀愁に胸がいたむのである。

県からのお知らせ

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動にしよう

麻薬等の薬物乱用問題は、今や最も深刻な社会問題の一つとなっております。

覚せい剤の乱用に加えて大麻、コカイン、向精神薬（睡眠薬等）等の薬物乱用も増加傾向にあるほか、特に青少年への薬物乱用が浸透してきていることは憂慮すべきことです。

「ダメ。ゼッタイ。」は薬物乱用防止の合言葉。6月20日から1か月間「ダメ。ゼッタイ。」普及運動を実施しますので、薬物乱用のない社会環境づくりにご協力をお願いいたします。

問合せ 県庁薬務食品課 ☎0764-44-3234

6月は「環境月間」です。

6月5日は、「環境の日」、6月は「環境月間」です。

本年は、地球温暖化防止に重点を置き、「地球が発熱！あなたが止める 温暖化」を統一テーマとして、各種の行事が全国的に展開されます。富山県内でも、環境に関する各種の行事が行われます。快適で恵み豊かな環境を守っていくため、ぜひ、この機会に日常生活を見つめ直してみよう。

用でできます。

山の家	連絡先	期間	負担金
雷鳥荘	(0764)82-1238	6/11	6,000円
一の越山荘	(0764)33-9788	6/11	6,000円
スノコ乗鞍小屋	(0764)82-1917	7/10	6,000円
太郎平小屋	(0764)82-1917	7/10	6,000円
薬師沢小屋	(0764)82-1917	7/10	6,000円
高天原山荘	(0764)82-1917	7/10	6,000円

利用できる人

政府管掌・組合管掌健康保険被保険者とその被扶養者
利用手続き

利用券をご希望の方は、山の家名、利用日、保険者証の記号番号もしくは年金手帳の基礎年金番号、氏名を記入した用紙を管轄の社会保険事務所に提出してください。
なお、宿泊予約は直接、山の家にしてください。
問合せ 県庁保険課 ☎0764-3213297

不動産取得税にしよう

不動産取得税は、土地や家屋の購入・建築など、不動産

みなさんの相談窓口

- 県政について**
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民相談電話)
FAX 44-3300(県庁ファックス)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411(代)
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311(代)
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151(代)

- 物価ダイヤル**
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)
- 消費生活センター**
消費生活センター
富山市湊入船町6-7 サンフォルテ内
〈一般相談は〉☎(0764)32-9233
〈金融相談は〉☎(0764)33-3252
- 消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777

- 交通事故については**
富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111 内4400
- 相談110番**
家庭問題・悪質商法・覚せい剤など、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110
- シルバー110番**
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内
☎(0764)41-4110
- よい子の育児電話相談**
子育てに関して心配や悩みはありませんか。どんなことでもお気軽にお電話ください。
☎(0764)33-4150(県庁生涯学習室内)

県からのホットニュース

- 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。
- テレビ広報**
■チューリップテレビ 毎週日曜日 PM5:15~5:30 「ふるさとトーク」
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「112万人のひろば〜クイズ/フォーカス/イン」
- 北日本放送 毎週日曜日 AM11:00~11:30 「こんにちは富山県です」
6/1 我がまちふるさと自慢 ~山田町~
6/8 身近にあります 砂防事業
6/15 森の未来を担うきこりたち
6/22 夢のある人、技術を育む ~富山県立大学~
6/29 県版エンゼルプラン
- ラジオ放送**
■FMとやま「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでとどけます。
毎週月~金曜日 AM9:50~9:55
- 新聞広報**
■北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

平成9年 7月 街頭献血日程

日曜日	献血場所	時間
6日	小杉 バスコ前	10:00~16:00
11日	朝日町役場前 朝日町職工会館前	9:30~12:00 13:00~16:00
13日	コスモタウンジャスコ砺波店 高岡市中田支所	10:00~16:00 10:00~16:00
21日	アル・プラザ小杉前	10:00~16:00
23日	黒部市役所前	9:30~12:00
27日	ハッピータウン氷見店	10:00~16:00

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。

○**マリエとやま6階の献血ルーム**では、月曜日を除く毎日(年末年始、マリエ休館日を除く)献血を受け付けています。
受付時間 全血献血 10:00~12:30 14:00~18:00
成分献血 10:00~12:00 14:00~17:30

○**マリエ献血ルーム**(TEL0764-45-4500)
血液センター(TEL0764-51-5555)

問合せ 県庁環境政策課 ☎0764-44-3141

お知らせ

富山県高岡文化ホール音楽友の会 会員募集

年会費制により国内外の一流音楽家の演奏を、年間を通して低料金でご鑑賞いただけます。

会員の方は、例会コンサートが無料になるほか(チケット郵送サービス)、特別コンサートが大幅割引になります。また、友の会が協賛するコンサートの割引情報などをご案内いたします。

会費 入会金 1,000円

年会費 15,000円

(夫婦・親子会員28,000円)

問合せ 〒933 高岡市川園町13番1号

富山県高岡文化ホール音楽友の会事務局

☎0766-25-4141

FAX 0766-25-4332

「とやまの音風景」募集

県では、良好な音環境を保全するため、「とやまの音風景」を募集します。あなたの町にしかない魅力的な音、歴史を感じる音等を「音風景」として残しませんか。

応募方法 市役所および町村役場窓口にある応募用紙に必要な事項を記入し各市町村に応募

応募期間 6月2日(月)~7月15日(火)

問合せ 各市町村の環境担当課または県庁環境保全課

☎0764-44-3144

富山県中央植物園 植物染め講習会

植物を染料にして糸や布を染める講習を行います。

日時 6月21日(土)、22日(日) 午前10時~午後4時

場所 富山県中央植物園 管理研修棟 実習室

講師 足立紀美子(女子美術大学講師)

定員 21日、22日とも各24名(往復はがきによる申し込み先着順 いずれかの日を指定して申込み)

参加費 1,000円(材料費)

申込み・問合せ

富山県中央植物園

富山県住みよい家づくり資金融資の申込案内

県では、住宅を新築、購入又は改良する際に融資を受けることができる、「住みよい家づくり資金」の申し込みを受け付けています。

この制度は、住宅金融公庫の融資を利用する方に低利な資金を併わせ貸しするもので、内容は次のとおりです。

また、今年度から新たに、地震に強い「耐震住宅」も対象となりますので、ご活用下さい。

融資利率

(ア)一般利率 3.75%(適用住宅:老人、心身障害者、多子、大家族同居住宅等)

(イ)中間利率 3.25%(適用住宅:Uターン者等住宅)

(ウ)特別利率 2.75%(適用住宅:雪に強い住宅、長寿社会対応住宅、耐震住宅)

融資額及び償還期間

○新築・購入 500万円以内(25年以内)

○改良・中古 300万円以内(10年以内)

※いずれも住宅金融公庫借入資金の2分の1以内とします。

申込期間 平成10年2月27日(金)まで

受付場所 住宅金融公庫業務取扱金融機関の窓口

問合せ 富山県住宅供給公社 ☎0764-32-5131

県庁建築住宅課 ☎0764-44-3355

健康保険山の家開設

大自然の雄大さ、厳しさ、やさしさにふれてみませんか。県では、今年も「健康保険山の家」を開設します。宿泊利用券を山の家を持参されると、1泊2食を6000円で利用

〒939-27 婦負郡婦中町上書田42
☎0764-66-4187

'97太閤山あじさい祭り開催

県民公園太閤山ランドでは、今年も「'97太閤山あじさい祭り」を行います。園内に咲き誇る約50種類2万株のアジサイが、みなさんを快く迎えてくれることでしょう。

なお、会期中の土曜、日曜には茶会、俳句会、箏曲演奏会、モデル撮影会、生花展などの催しが行われますので、どうぞご来園ください。

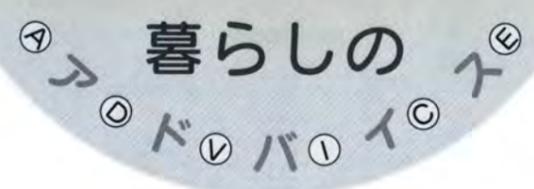
日時 6月28日(土)~7月6日(日)

場所 県民公園太閤山ランド

問合せ 財団法人県民福祉公園

☎0766-56-6116

暮らしの中でのちょっとした疑問



Q「煮物の味つけは「サシスセン」の順で」と聞きますが、それはどのような意味なのでしょうか？

A サは砂糖、シは塩、スは酢、セは醤油、ソは味噌を表しています。

汁に溶けた調味料は、主に拡散により食品の表面から内部へ浸透します。その浸透速度は、食品の表面積や組織状態、食品内外の濃度差などのほか、調味料自身の分子の大きさや電荷にも大きく左右されます。

例えば、食塩と砂糖を比べると、食塩の方が分子が小さいため材料への浸透がはやいのです。そのため、煮物の味つけに塩分を先に加えてしまうとタンパク質の熱凝固を進め、食品内部の水分を引き出し、組織を収縮させるので、後から加える砂糖が浸透しにくくなるのです。

このような理由で、「サシスセン」の順が良いといわれています。

Q ワインを保存する時、横倒しに寝かせると良いのですが、なぜでしょうか？

A ワインの味に円熟味や滑らかさ、複雑性を加えるのが「熟成」という過程です。ワインをびん詰めする前は、空気に触れることによる酸化反応の熟成が、びん詰めの後では非酸化反応による熟成が進みます。

びんを寝かせるのは、栓のコルクを乾燥させないためです。つまり、ワインがコルクを膨潤して空気による酸化を防ぐので、ワインはゆっくりと眠りにつけるのです。また、コルクが濡れていた方が、栓もろくに抜けます。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)9233、高岡支所、電話0766(25)2777

編集後記

★「誰が力持ちか？」という素朴な命題を掲げて競うパワーリフティング。そんな単純明快さが魅力だと山本さんはいう。ただ、地味さゆえに、まだまだマイナーであることは否めない。しかし、二時間以上ひたすら走るだけのマラソンに誰もが釘付けになるように、心を打つのは選手が必死に闘う姿。自分の全てをパーペルにぶつける姿は、きつと感動を与えてくれるはずだ。(M・K)

★「行田公園」のハナシヨウブは昭和四十九年に滑川市出身の会社経営者が寄贈したものだそう。その当時は一万五千株だったが、株分けなどにより現在では四万株にも増えた。一人の善意が多くの人の手に支えられ、今では「行田公園」の象徴となっている。先人の労苦を偲びながら、ぜひ開花の頃に訪れようと思う。(M・I)

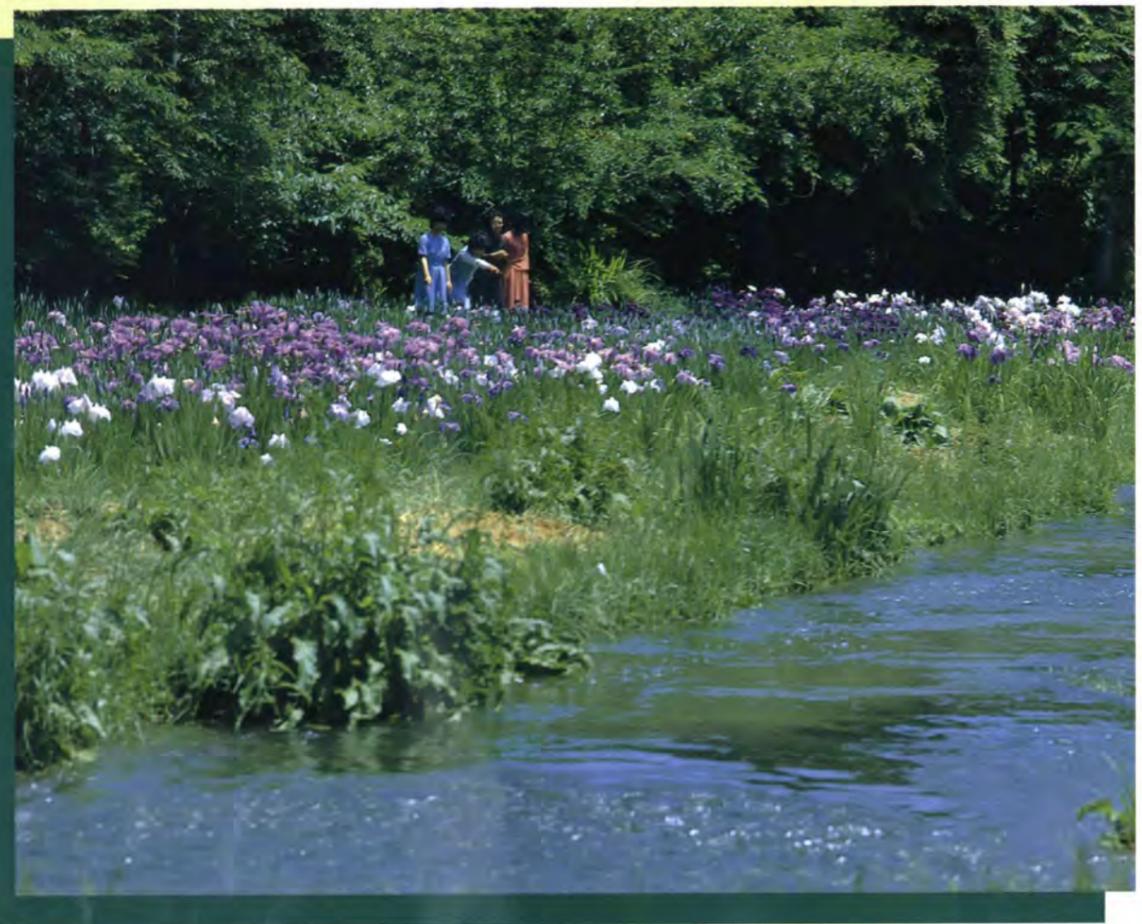
★「みてある記」で取材したメリッサさん。インタビューは英語かな？うちとけて話せるかな？と心配しつつ上平中学校を訪問した私だが、メリッサさんも同じ気持ちだったようだ。片言の日本語と片言の英語、プラス辞書を手に二人とも一生懸命相手の意図を理解しようとした結果、無事インタビュー終了。言葉はともかく、気持ちを通じたこと二人の顔は安堵感で一杯だったに違いない。(Y・I)

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真を抽選で5名の方にワイド六ツ切(25×18センチ)でプレゼントします。希望される方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込みください。平成9年7月24日消印有効です。

富山県広報課 写真プレゼント 6月号係あて	〒930 富山県 富山県広報課 写真プレゼント 6月号係あて
氏名	年齢
住所	
電話	
本誌を読んだ感想	

とやま水紀行

伏流水を利用した街なかのオアシス



行田公園(滑川市)



滑川市街地近郊の上小泉地内にある行田公園は、早月川の伏流水が集まった湿地帯を利用した市民の憩いの場である。

公園の至る所に湧きだす伏流水は、いく筋もの小川となつて、約六・六ヘクタールの公園を隅々まで潤す。主流の中川には、その水の清らかさを誇るかのようにキンポウゲ科のバイカモが揺れる。

園内には、ハンノキやツリフネソウなど湿地性の草木を中心に約四百五十種にも及ぶ植物が生息するが、なかでも代表的なのはハナシヨウブ。六月中旬から下旬にかけて、約四万株が紫や白の見事な花を咲かせ、訪れる人々の目を楽しませてくれる。また、中川に沿ってコナラ、クリなどの木々が生い茂り、鮮やかな緑が清水に映える。

「行田」という地名は、ここがかつて京都祇園社の荘園の一部で、その年貢米をつくる祇園田(ぎおんでん)があったことに由来するという。

市街地のすぐ近くにあるとは思えないほどの豊かな緑と可憐な花々、そしてその中を滑るように流れる清流。ここを散歩する人は誰もが、心なごむひとときを過ごす。行田公園は街なかに残されたオアシスといえるかもしれない。

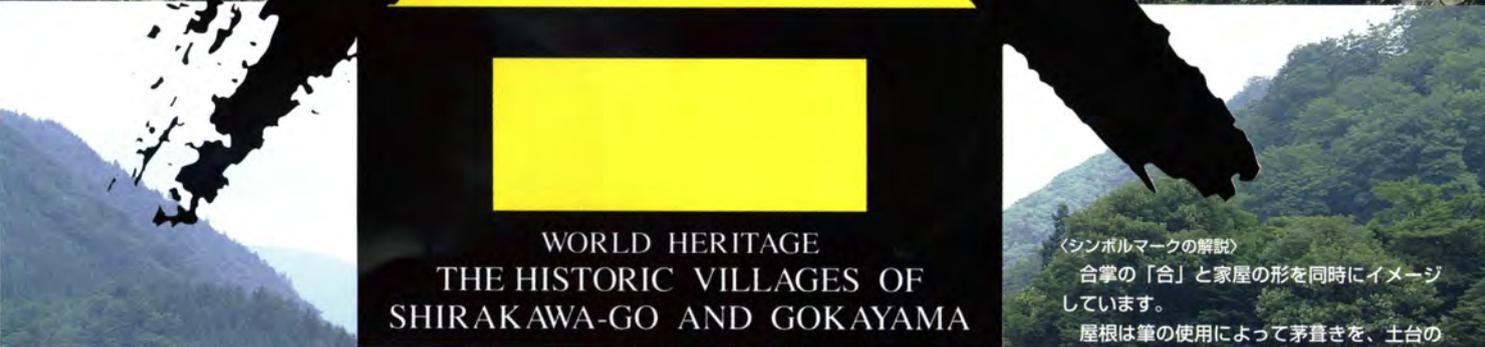
世界遺産 「白川郷・五箇山の合掌造り集落」 シンボルマーク制定



相倉集落

WORLD HERITAGE
THE HISTORIC VILLAGES OF
SHIRAKAWA-GO AND GOKAYAMA

〈シンボルマークの解説〉
合掌の「合」と家屋の形を同時にイメージしています。
屋根は筆の使用によって茅葺きを、土台の「口」は直線で堅牢な構造を、また、黄色の彩色は家の暖かな灯を表しており、伝統を支えていく現代の英知を象徴した安定感のあるデザインです。(黒部市にお住まいの浅野野さんの作品です。)



菅沼集落

平村相倉、上平村菅沼、白川村萩町の合掌造り集落がさらに親しみ愛されていくようシンボルマークを制定しました。

このマークは、富山県、岐阜県、平村、上平村、白川村の2県3村でつくっている合掌造り集落世界遺産記念事業実行委員会が全国に公募して定めたものです。

シンボルマークは、今後広く一般に公開し、世界遺産としての合掌造り集落への理解を深め、関心を高めるための様々なパンフレット、お土産、標識等に利用していただくことにしています。

使用されるときは、平村役場または上平村役場へお問い合わせください。

問合せ 富山県教育委員会文化課 ☎0764-44-3456